

WordPressブロックテーマで作る 実用サイト制作術

VWSオンライン勉強会 #045

Hidekazu Ishikawa@Vektor,Inc.



ようこそ！はじめに



この勉強会について

運営：株式会社ベクトル

WordPressやウェブ制作にまつわる様々なテーマをとりあげて開催しているオンライン勉強会。

ご興味がある方であれば、経験や技術レベルに関係なく、どなたでもご参加いただけます。

また、ベクトル製品のアップデート情報・カスタマイズ・運用方法についてもご案内しています。

勉強会中のコメント

勉強会中のコメントは YouTube の方によりしくお願いします。
できるかぎり拾っていきたいとは思っています。

歓迎されること

- チャットでわいわい コメントしてください。
- ぜひSNSにも投稿して盛り上げてください **#wpvektor**
- **やさしい言葉使い** を心がけて、誰にとっても快適な勉強会となるようにご協力ください。

本日の内容

- ご挨拶・その他お知らせ（約10分）
- 本編: WordPressブロックテーマで作る
実用サイト制作術（約60分）
- 質疑応答（～30分程度）
- 懇親会・ユーザーフィードバック会（Zoomのみ、配信なし）

セッションの内容は後から振り返りできます

URLリンク情報などはコメント欄や twitter(X) のアカウントから投稿します。

https://x.com/vektor_inc

動画もシェアされますので安心してゆっくり見てください。

それでは本編スタート



この勉強会の対象

- ブロックテーマでのサイト制作にあまり慣れてない人
- WordPressでのサイト制作はよくやるが、PHPベースのクラシックテーマがメインの人

ブロックテーマでのサイト制作・カスタマイズ手法や、
ブロックパターンを活用したサイト制作について紹介します。

本編の前に...

人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
 > ブロックテーマ ≠ ブロックエディタ対応テーマ <
Y^Y

ブロックテーマ

テンプレートファイルが html ファイルで構成されていて、ヘッダーやフッターを含めてページ全体がサイトエディタから自由に編集可能なテーマ

ブロックテーマ使ってますか？

- 受託とかの案件でもバリバリ使ってる
- 案件では使っていないけど自社サイトなどでは実際に運用してる
- お試しでさわったりした事はある
- まったく使った事がない

ブロックテーマのメリット

ノーコードで
管理画面からサイト全体を自由に編集できる

デメリット

- クライアントがサイトを壊しやすい
※対策はある（後述）
- テーマファイルの Git 管理がしにくい
（編集内容はすべてデータベースに保存される）
- テストサーバー → 本サーバー の運用がしにくい

ブロックテーマでよく聞かれる「どうすんの？」

- そもそもブロックテーマでどんな感じで作ってる？
- 条件分岐とかプログラムでの表示制御してた部分どうすんの？
- カスタムフィールドを表示したいんだけど...
- わりと大掛かりなテーマ改修する時とかどうすんの？

主にこのあたりを
いろいろ見ていきたいと思います

主なお品書き

- 簡単セットアップ
- パターンライブラリ
- グローバルスタイル
- 投稿一覧ループの構築・カスタマイズ
- 部分的な条件分岐で表示を切り替える

- カスタムフィールドの値を表示したい
- 同期パターンで一部上書き可能にする
- 低い権限のユーザーでも
ナビゲーションだけは編集許可する
- テスト → 本番反映 への問題と対応

ブロックテーマの構築



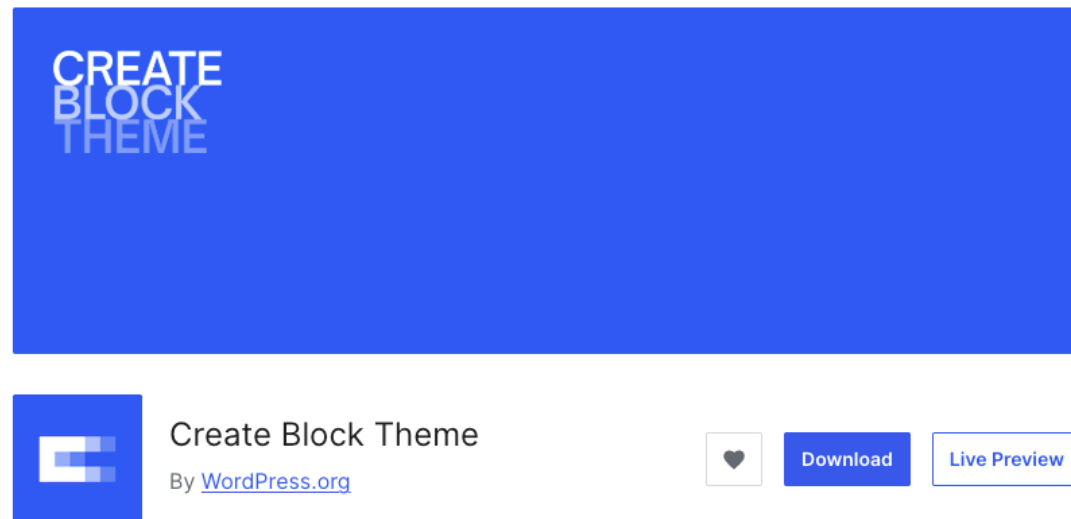
ゼロから作るなら

プラグイン Create Block Theme

<https://wordpress.org/plugins/create-block-theme/>

管理画面 > エディタ から各種
設定をしてテーマを書き出す事
ができる

既存テーマを触ってサイトエディタに慣れて
から必要に応じて使えばOK



既存のテーマからのカスタマイズなど

ウェブサイトを一から作るのめんどくさい
→ VK FullSite Installer で
サイトごとセットアップすることができます。

<https://vk-fullsite-installer.com>

今回は主に「X-T9 Pro版 ビジネス」を元に、
ブロックテーマでどのように構築しているのか紹介します。

パターンライブラリを使って時短

サイトでよく使われるようなレイアウトのセクションやページ全体をパターンとして提供しているテーマも多い

.org 公式 : <https://ja.wordpress.org/patterns/>

Vektor,Inc. : <https://patterns.vektor-inc.co.jp>

SnowMonkeyのキタジマさん

<https://snow-monkey.2inc.org/snow-monkey-patterns/>

<https://unitone.2inc.org/unitone-patterns/>

パターンは良くても中身が思いつかない！

ブロックパターンの中に入れる文章や画像で
AI で賄えるものは利用する。

「歯医者者のウェブサイト用のサービスメニューを4つと簡単な説明文を200文字くらいでください」とかやればそれっぽい文章はくれる

※ プラグインとかもあるけど実用性はまだ微妙

ブロックテーマのサイトの カスタマイズ



グローバルスタイルについて

追加CSSを書く場所

■ クラシックテーマ

外観 > カスタマイズ > 追加CSS

■ ブロックテーマ

1. 外観
2. エディタ
3. テンプレート一覧
4. 適当に選ぶ
5. スタイルアイコン
6. 三点アイコン
7. 追加CSS

→ めっちゃ隠れてる！



CSSを追加するなら一応他の方法もあるが...

- 外観 > カスタマイズ > 追加CSSからでも普通に書ける
- カスタムHTMLブロックにスタイルタグでCSSを書く

```
<style type="text/css">.my-style-red { color:red; }</style>
```

- ブロックに直接CSSを追加できるプラグインを使う（有料）
- その他追加CSSを書けるプラグインもあるが...

グローバルスタイルの追加CSSのメリット

- 編集画面にもちゃんと反映される
 - 外観 > カスタマイズ > 追加CSS の場合
編集画面には反映されない
- 一括管理の方が複数人で作業の場合とか混乱が少ない
- 一応一番読み込み（ページ表示）が速い

デフォルトのブロックスタイルを指定できる

外観 > エディタ > スタイル > ブロック

各ブロックのデフォルトのスタイルを独自に設定変更しやすいようになっている

他にもカラーパレットとかも簡単に変更できる

CSSを書かなくてもそれなりにスタイルをつけられる けど...

受託の実案件ではCSSファイルで書いちゃった方がいいかな...

フォントの追加

任意のGoogleフォントも簡単に追加できます。

※ 時間の都合で説明スキップしますので下記参照

<https://www.vektor-inc.co.jp/post/add-google-fonts-block-theme/>

記事一覧で同じレイアウトを使う

home / index / category / archive など 記事一覧は同じレイアウトにしたい

クラシックテーマでは1件分をテンプレートパーツのphpファイルとして作成して、
`get_template_part()` で呼び出すのが一般的だった。

ブロックテーマのテンプレートパーツ

"テンプレートパーツ" という機能はあるがループでは使えない

- クエリーループの中の 1 件分の要素が入っている"投稿テンプレート"の中身をテンプレートパーツとして登録しても、テンプレートパーツは作られるが、ループの中には使用できない
- "投稿テンプレート" ブロックを直接テンプレートパーツにしても動作不良
 - 個別の編集モードにいけない
 - 他の場所でも呼び出せない

どうすんの？

手法 1

"投稿テンプレート" の中身を **同期パターン** にして登録

→ 他のテンプレートにも配置

留意事項：

DBに投稿として保存されて、テーマとしてはその"投稿id" を参照するので、
Create Block Theme でテーマを書き出しても同期パターンは書き出してもらえない

手法2（そこそこの規模の案件向け）

1. カスタマイズ用のプラグインを用意
2. その中で1件分をダイナミックブロックとして自作して配置

バージョン管理やテストサーバー → 本番反映など運用しやすい

でも技術ハードル高いしメンテナンスコスト高いよね...

クエリーループごとテンプレートパーツ化する

home / index / archive の一覧への表示だけなら、
クエリーループごとテンプレートパーツ化して共通化できる。

注意！

テンプレートパーツや同期パターン化した中で使っているクエリをデフォルトから変更してしまうと...

```
__人人人人人人人人人人人人人人人人人__  
> どのページを開いても一覧の内容が同じ <  
—Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y—
```

投稿ループのクエリのカスタマイズ

固定ページの中などに 投稿一覧を配置する場合

「指定のカテゴリーだけ」とかももう少し細かい条件を指定

- プラグイン **Advanced Query Loop**

<https://wordpress.org/plugins/advanced-query-loop/>

※ 先述の通りアーカイブ用のテンプレートなどで使うと、本来のページに応じた表示内容にならなくなるので注意

部分的な条件分岐で表示を切り替える

投稿一覧アーカイブページなど、レイアウトは概ね同じだが、
投稿タイプによってサイドバーだけ変更したい とか...

一部分のためにテンプレートファイルを増やすと管理が面倒

PHPのテンプレートファイルで if 分で条件分岐をしていたように
ブロックでも条件分岐はできる

- VK Dynamic If Block

<https://ja.wordpress.org/plugins/vk-dynamic-if-block/>

- Block Visibility

<https://ja.wordpress.org/plugins/block-visibility/>

カスタムフィールドの値を表示したい

ブロック自作

AIに作ってもらえるような時代になったけれど...

- プログラマー以外には少しハードル高い
- プラグインとして作って管理とか面倒...

カスタムブロック作るプラグイン

PHPでクラシックテーマ自作してた人なら、
プラグイン **Lazy Blocks** で作るのが手軽

<https://wordpress.org/plugins/lazy-blocks/>

クライアント名



Content Controls



Inspector Controls



block.php



block.css



view.js

PHP ▾



```
1 <div>
2 <?php
3 // カスタムフィールド名
4 $cf_name = "works-client";
5 // カスタムフィールドの値を取得
6 $cf_value = get_post_meta( get_the_ID(), $cf_name, true );
7 // エスケープして表示
8 echo nl2br(esc_textarea( $cf_value ));
9 ?>
10 </div>
```

Block

Control

SLUG

lazyblock/

client

ICON

CATEGORY

テキスト

KEYWORDS

Type keyword and push Enter

Make it easier to discover a block with keyword aliases

DESCRIPTION

ブロックにPHPを登録

```
<div>
<?php
// カスタムフィールド名
$cf_name = "works-client";
// カスタムフィールドの値を取得
$cf_value = get_post_meta( get_the_ID(), $cf_name, true );
// エスケープして表示
echo nl2br(esc_textarea( $cf_value ));
?>
</div>
```

とは言え...

管理画面からPHPが書けてしまうのはセキュリティ面でよろしくない空気を感じるのですが...

そのあたりどうなんですかね...

プラグインなど

カスタムフィールドを表示できるプラグインもある

例) VK Blocks Pro のダイナミックテキストブロック

The screenshot displays the VK Blocks Pro editor interface, which is divided into three main sections: a left sidebar, a central workspace, and a right sidebar.

Left Sidebar (List View): Contains a tree structure of blocks. The 'Dynamic If' block is expanded, showing a 'グループ' (Group) with a 'レスポンススペー...' (Responsive Space) block. The 'レスポンススペー...' block is highlighted with a red box.

Central Workspace: Shows a preview of the 'Dynamic Text' block. The block is titled 'クライアント' (Client) and contains a '使用技術など' (Used technology, etc.) field. The '使用技術など' field is highlighted with a red box. Below it is a 'URL' field.

Right Sidebar (Block Settings): Contains settings for the 'Dynamic Text' block. The '表示要素' (Display Element) dropdown is set to 'カスタムフィールド' (Custom Field). The 'カスタムフィールド値' (Custom Field Value) dropdown is set to 'works-tech'. The 'フィールドタイプ' (Field Type) dropdown is set to 'テキストエリア' (Text Area). The 'HTML 要素' (HTML Element) dropdown is set to 'div (標準)' (div (Standard)).

⚠ ショートコードでの表示は要注意

カスタムフィールドの値を表示するショートコードを作るのはおすすめしない。

クエリループブロックの中のショートコードはレンダリングされるタイミングの都合上、ショートコードの中で `global` の `$post` や `get_the_ID()` がループ中のアイテムの情報にならない。

回避方法はあるが面倒。

<https://www.vektor-inc.co.jp/post/shortcode-in-query-loop/>

それならダイナミックブロック作った方が...

同期パターンで一部上書き可能にする

カスタムフィールド使わなくてもいける場合も多い

同期パターンの中の要素は、テキストと画像に限って上書き可能にする事ができる

1. 同期パターン化
2. 同期パターンの編集画面移動
3. 編集可能にさせたいブロックを選択
高度な設定 > 上書きを有効化

参考

<https://www.vektor-inc.co.jp/post/pattern-synchronous-asynchronous/>

クライアントにレイアウトを
壊されたくない

👑 サイトエディタは編集権限では編集できない

🔒 固定ページ本文などの表示ロック

プラグイン Locky Blocky

<https://wordpress.org/plugins/locky-blocky/>

親ブロックで編集ロックしておく...

The screenshot shows a web editor interface. At the top, there's a navigation bar with a logo, a plus icon, navigation arrows, a menu icon, and a 'VK Pattern Library' link. Below this is a breadcrumb 'HOME · ホームページ' and a '36K' indicator. On the right, there are icons for share, print, and a '保存' (Save) button.

The main editing area is divided into three panels. The left panel shows a 'リストビュー' (List View) of blocks: 'スライダー' (Slider), 'レスポンススペーサー' (Responsive Spacer), 'サービス案内' (Service Introduction), another 'レスポンススペーサー', 'ボタン' (Button), another 'レスポンススペーサー', and 'カバー' (Cover) which is selected. The 'カバー' block has a sub-menu with '会社案内' (Company Introduction), two '段落' (Paragraph) blocks, and a 'ボタン' (Button) block. The right panel shows a '固定ページ' (Fixed Page) view with a 'ブロック' (Block) list containing 'カバー' (Cover) and 'コンテンツ' (Content). The 'コンテンツ' section lists '会社案内', two '段落', and a 'ボタン'.

The central canvas shows a preview of the 'Cover' block. It features an image of a laptop displaying a website with a bar and pie chart. Below the image is a text block titled 'About Us' with the following text: '私たちは、デザインと技術の力で心を動かすウェブ体験を創造する制作会社です。お客様の想いや課題に寄り添いながら、本質をとらえた丁寧なもののづくりを大切にしています。多様なニーズに柔軟に応え、信頼されるパートナーであり続けることを目指しています。' A '詳細はこちら' (Details here) link is at the bottom right of the text block. A red box highlights the 'Lock' icon in the top toolbar, and a tooltip explains the 'Enable Content Only' feature: 'Enable Content Only Restricts editing to content only.'

管理者以外は、文字は変更できるが、
レイアウトやデザインの変更はできなくなる

管理者以外は、文字は変更できるが、
レイアウトやデザインの変更はできなくなる

HOME・固定ページ

VK Pattern Library

リストビュー アウトライン

スライダー
レスポンシブスペーサー
サービス案内
レスポンシブスペーサー
ボタン
レスポンシブスペーサー
カバー
会社案内
段落
段落
ボタン
レスポンシブスペーサー
グループ

固定ページ ブロック

カラム
カラムブロック内の1つのカラム。

スタイル
デフォルト サイドバー

コンテンツ
会社案内
段落
段落
ボタン

会社案内
About Us

私たちは、デザインと技術の力で心を動かすウェブ体験を創造する制作会社です。お客様の想いや課題に寄り添いながら、本質をとらえた丁寧なものづくりを大切にしています。多様なニーズに柔軟に応え、信頼されるパートナーであり続けることを目指しています。

詳細はこちら

**低い権限のユーザーでも
ナビゲーションだけは編集許可する**

ブロックテーマはテーマファイルがノーコードで編集可能

__人人人人人人人人人人人人人人人人人人人__
> クライアントに迂闊にテーマをさわってほしくない <
—Y^Y—

でもナビゲーション項目はクライアントが変更可能にしたい

<https://www.vektor-inc.co.jp/post/allow-navigation-edit-for-editor/>

テスト → 本番反映 への問題と対応



Vektor, Inc.
— Web Solutions —

運用中のサイトを改修というケースで地味に困る

テストサーバーで確認 -> OK出てから本番反映

クラシックテーマと違ってファイルで管理していない

Create Block Theme の問題

プラグイン Create Block Theme を使えばテーマは書き出せるが...

テストと本番で例えばヘッダーのナビゲーションの参照IDが違
と本番でメニューの再設定などが必要
(クラシックテーマはスラッグ指定できたのでまだマシ)

Create Block Theme で子テーマとして書き出すと...

→ 同期パターンなどを使用しても、同期パターンはDB内に保存されるので、テーマとしては書き出してもらえない

どうすればいい？

1. テンプレートパーツをプラグインのコードで作る

```
__人人人人人人人人人人人人人人人人人人人__  
> コード書きまくりでフルサイト編集の意味なし！ <  
—Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y—
```

2. よほど大きくなければ本番サイトで...

A. 条件分岐で表示を切り替えて確認してもらう

条件分岐できるプラグインを使って

ログインしている特定のユーザー権限の場合には改修用のコンテンツが表示されるようにする

ログインしていない場合は既存コンテンツ

リストビュー

アウトライン

×

> スライダー
 レスポンシブスペーサー
 サービス案内
 レスポンシブスペーサー
> ボタン
 レスポンシブスペーサー
✓ Dynamic If
 > カバー
✓ Dynamic If
 > カバー
 レスポンシブスペーサー
> グループ
└─ 区切り
> カバー
> グループ
└─ 段落

固定ページ

ブロック

×

if{}
🔗

Dynamic If

表示条件

⤴

条件タイプ

ログインユーザーのみ

▼

☒

ログインユーザーにのみ表示

条件を削除

条件を追加

☒

除外指定

Dynamic If ブロックの中に
Dynamic If -Else ブロックを配置する
事で、条件に合わない場合に表
示する要素を指定する事ができま
す。

カスタムCSS

🔗

▼

高度な設定

▼

B. 確認用ページテンプレートで

1. 確認用のページテンプレートを作る
2. 非公開ページを作成して確認用のページテンプレートを適用
3. OKが出たら確認用のページテンプレートの中身を本番テンプレートの中身に入れ替え

バージョン管理

- バックアッププラグインなどでサイト全体として使えばいいのでは？
- 固定ページや投稿と同じくリビジョンもある

みんなどうしてる？

次回

2025/10/23(木) 21:00 ~ 22:15

怖くない・大変じゃない
WordPressサイトの維持管理

<https://vektor.connpass.com/event/370498/>

ありがとうございましたん